

各 位

2025 年 5 月 2 日

ダイビル株式会社

## 国内外の当社全保有ビルにおけるCO<sub>2</sub>フリー電力の導入完了について ～脱炭素社会の実現に向けた取り組み、RE100 達成～

ダイビル株式会社（社長：丸山卓、本社：大阪市北区）は、プレスリリース<sup>※1</sup>にてお知らせの通り、国内外に保有するオフィスビル 22 物件への CO<sub>2</sub> フリー電力<sup>※2</sup>の導入を完了しております。

この度、新たに国内のオフィスビル 2 物件（虎ノ門ダイビルイースト（2023 年 12 月購入）、御堂筋ダイビル（2024 年 1 月竣工）、レジデンス 2 物件および海外オフィスビル 3 物件（63 Ly Thai To（ベトナム）、275 George Street・135 King Street（オーストラリア））についても切り替えを完了し、当社が国内外に保有する全 29 物件<sup>※3</sup>において、CO<sub>2</sub> フリー電力の導入を完了したことをお知らせいたします。

これにより、国際イニシアチブ「RE100」の要件である CO<sub>2</sub> フリー電力 100%導入が達成となり、CO<sub>2</sub> 排出量を年間約 3.2 万トン<sup>※4</sup>削減することができます。この削減量は、一般家庭約 1.9 万世帯分の CO<sub>2</sub> 排出量に相当します。

当社が導入する CO<sub>2</sub> フリー電力は RE100 対応の非化石証書付電力（トラッキング付）<sup>※5</sup>であり、当社保有ビルのテナント様は、そのオフィスや店舗等で使用する電力の CO<sub>2</sub> 排出量がゼロになるため、環境面で企業評価の向上につながります。

当社グループは「グループ行動規準」に「環境問題への取組」を掲げ、これまでも省エネルギーやリサイクルの推進など積極的に取り組んでまいりましたが、使用電力の CO<sub>2</sub> フリー化をあわせ、今後も脱炭素社会の実現に向けた取り組みを推進してまいります。

なお、当社グループのマテリアリティについては[こちら](#)をご参照ください。

### ■ この取り組みに対応する SDGs



- ※1 2022 年 3 月 24 日付「[当社全保有ビルにおける CO<sub>2</sub> フリー電力の導入完了について](#)」  
2022 年 9 月 6 日付「[ベトナム ハノイ市「コーナーストーン・ビルディング」における全使用電力を CO<sub>2</sub> フリー化](#)」  
2023 年 1 月 5 日付「[ベトナム ホーチミン市「サイゴン・タワー」 全使用電力を CO<sub>2</sub> フリー化](#)」
- ※2 非化石証書等の使用により、実質的に再生可能エネルギー由来の電力。
- ※3 建て替えを予定しているビルおよび当社が電力需給契約を締結していないビルを除く。
- ※4 対象ビルで 2024 年度に使用した電気使用量の総量を基に試算。
- ※5 発電場所のトラッキング情報を追加した非化石証書を活用した電力。

以 上